

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。

ここで言う感染の拡大は、まずは、世界レベルでの話だ。

世界レベルでの感染者の合計数は、1000 万人を超えた。

その約四分の一が、米国であり、260 万人を超える。

次いで、感染者数は、ブラジル、ロシア、インド、と続く。

+++++

世界レベルでの感染者の合計数が、1000 万人を超えて、その世界レベルでの死亡者数は、50 万人を超えた。

単純計算をする訳にはいかないのだろうが、感染者 1000 万人で、死亡者が 50 万人ならば、5%が死亡したことになる。

新型コロナウイルスを、インフルエンザと比較する話を聞くが、インフルエンザよりも、死に至る可能性は、高いと推測されるので、インフルエンザを例えに挙げるのは、適切ではない、と考えます。

+++++

そして、世界レベルで見ると、まだ、アフリカでの感染が挙がっていないことが気にかかる。

アフリカの場合、まだ、感染が無い（皆無である）とは、考え難い。

まだ、正確な数字を挙げる程の調査ができていないのだろう、と推測します。

+++++

何を言いたいのか、を述べるならば、現在の日本は、「日本全体での第 2 次感染が、今後どうなるのか？」や、「特に、東京における第 2 次感染の拡大」を心配している。

しかし、世界を眺めるならば、感染の拡大は、1 次感染も 2 次感染もなく、単純に拡大、パンデミックを続けている、ということだ。

特に、心配なのは、今、話題に上っていないアフリカや、南米の国々では、これから感染の拡大が起こるであろう、と推測できることだ。

+++++

日本を含む、先進国諸国は、感染の拡大と、それが各国の経済に与えるマイナス効果を考慮して、コロナウィルスに関する規制を緩和しつつある。

しかしながら、規制を緩和すれば、感染の拡大は収まらずに、第 2 次感染、第 3 次感染が起こるのは、自明の理。

+++++

コロナウィルス対策として行われた金融緩和で、ジャブジャブに余った資金が、現在の様々なマーケットに流入しているので、いわゆるマーケット（株式市場、為替市場、商品市場、金融市場など）は、今のところ、落ち着いているのだが、どうも、「砂上の楼閣」のように、感ぜられて、なりません。

+++++

（2020 年 06 月 30 日東京時間 15 : 10 記述）